



議員 9月議会です子ども医療費無料年齢拡大を要望したが、再度、早期実現を求める。まずは、小中学生の医療費を一律一回200円程度の定額制にし、子育て家庭の経済

小中学生の通院費を

低負担の定額制に

「現在検討を進めている」

的支援をしてはどうか。

子ども青少年部長 子ども医療費については、現在検討中。年齢を拡大した場合、一定の負担を課すことも考えられること

一般質問

花井 伸子 議員

中学卒業までの医療費を無料に 「来年度予算編成の段階で決断」

議員 この間、子ども医療費の中学卒業までの無料化について、早期実施を求め、繰り返し質問してきたところである。それまで、他の会派からの質問はなかったが、9月議会では複数の会派から同様の質問がされ、議会では多数の要求となった。来年度予算に向けて具体的な検討は進められているのか。

子ども青少年部長 現在、担当において作業を

高橋 秀樹 議員

学童保育室の設置は 学校活動に配慮すべき

「将来的には学校以外の設置も検討」

議員 本市の学童保育室は、学校の校内に設置されているため、戸田南小学校のようにグラウンドが狭くなり、教育活動に支障を来している。学童保育の需要は多くなるので、学校敷地外の借り上

子ども青少年部長 入室希望者が増加傾向にあり、施設の改修や増設も計画的に行っている。将来的には、学校敷地内だ

進めている。

議員 いつまで検討して、市民に結果を知らせるのか。

市長 来年度予算編成の限度があるので、その段階で決断しなければならぬと考えている。

議員 9月議会で、定額・定率の負担や所得制限の導入を検討すると答弁したが、県内の市ではどこもこうした負担・制限を

けの設置は厳しい状況も予想され、敷地外の設置も検討したい。

プレハブ教室の 解消は

議員 児童増により、戸田第一小学校、戸田南小学校にプレハブ教室が建設され、校庭やグラウンドが狭くなり、運動会等で支障を来している。学校内の敷地の有効的な利用や、過度な設計とならないよう、建設や改修には設計する前に専門家の

行っているところはない。負担・制限を導入しないよう強く要望する。

戸田駅北側に信号機 設置を急いで

議員 北大通りの線路高架西側に信号機を設置してほしいとの要望が出されている。4月からは、近くに保育園が開園することからも早急な設置を要望すべきである。

市民生活部長 対策が必

意見を聴く必要がある。

教育部長 老朽化してい



▲ 5教室をプレハブで対応している戸田第一小

る校舎も多く、大規模改修の時期に合わせ、プレハブ教室の解消も検討する。建設等では専門家の意見を聴くことは必要なので、今後の研究課題である。

メール配信 の登録や情 報管理の一 元化を

議員 本市では、携帯電話に防災情報と防犯情報

要との認識から、平成21年度信号機設置要望として、11月25日付で蔵警察署長宛に要望書を提出した。

議員 新年度の早い時期に実現するよう、再度強く要請を願いたい。



▲ 危険な交差点の解消を（北大通り戸田駅高架西側）

をメール配信しているが、利便性の上からも登録の一元化が必要ではないか。また、防災、防犯、火災等の情報の一元化をし、登録者が情報を選択できるようにしてはどうか。

総務部長 防災情報は気象警報や大地震等を配信し、防犯情報は不審者等の情報の配信である。今後、市民の利便性を考慮し一元化や、火災情報も含めた情報サービスを検討したい。

もオープンにしていきたい。

新大宮バイパスの騒音 対策で防音壁の設置は

議員 住宅が多い地域の防音壁設置見直しは。

市民生活部長 早瀬2丁目、笹目6丁目地内に総延長210メートルの遮音壁が21年度に着工予定。

や交通安全教室等、機会をとらえ警察と連携し周知を図っていく。

北戸田駅西口の 緑石改修を

議員 福仙堂書店前横断歩道脇の赤白ポールを取り外し、往来しやすく改修はできないか。

市民生活部長 現況の道路形態では、交通安全上撤去は難しいと考える。

乳がん検診の 人数枠拡大を



▲ もうすぐ1年生（芦原小の就学児健診）

議員 本年度の申込人数が定員を上回り、抽選に漏れた方がいた。検診の人数枠拡大はできないか。また、今後の受診体制の充実について考えを伺う。

医療保健センター事務長 来年度は希望された市民の方全員が受診できるよう、蔵戸田市医師会と協議していく。

検診の曜日や時間帯など受診体制も医師会と協議

市民生活部長 市として交通安全啓発のイベント